

ライセンス制度の1級・2級の認定講習実施方法（概要）

一般財団法人全日本野球協会
アマチュア野球規則委員会

1. 1級認定講習

(1) 認定講習の流れ

- 筆記テストと実技評価の2段階方式とする。
- 筆記テストの合格者のみが実技評価に進める。
- 筆記テストと実技評価の両方とも全日本野球協会（以下「BFJ」）が実施する。

(2) 筆記テスト

- テスト問題は、公認野球規則、アマチュア野球内規、野球審判員マニュアル（アマチュア野球規則委員会編）から出題する。
- 問題の形式は○×方式、問題数は25問、試験時間は30分とする。
- 試験会社へ委託し、各都道府県の指定した会場（全国約200箇所）で受講する。
- 受講者が各自でインターネットにより申し込む（登録）。
- H30年度は5月上旬～6月の間（予定）（その後は毎年4月～5月の間）に会場および時間を各自で選択し、受講する。
- 受講料は5,000円とし、前納制（試験会社へ入金）とする。

(3) 実技評価

- 講習会方式（1日間）で実施し、実施時期は10月～12月とする。
- 現時点では9会場（北海道・東北、関東（2会場）、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州・沖縄）を想定している。
- 会場・日時等は、筆記テストの合格者の状況を見てBFJが設定し、筆記テストの合格者にBFJから通知（指定）する。ただし、指定日の都合がつかない場合は、他会場での受講も可とする。
- 受講料は5,000円とし、前納制（BFJへ入金）とする。

2. 2級認定講習

(1) 認定講習の流れ

- 筆記テストと実技評価の2段階方式とする。
- 筆記テストの合格者のみが実技評価に進める。
- 筆記テストは1級認定講習と同じBFJのシステムを利用する。

- 実技評価は各都道府県の審判員組織または野球団体（以下「各都道府県の審判員組織」）が実施する。

(2) 筆記テスト

- 1級認定講習と同じ。

(3) 実技評価

- 講習会方式（1日間）で実施し、会場・日時・評価者などは各都道府県の審判員組織が決める。
- 実施評価のメニュー、評価基準などはBFJが作成する。
- 評価は3人以上で行い、評価者の平均点をもって評価する。
- 受講料の有無および金額などについては、各都道府県の審判員組織の任意とする。（受講料の算出の例：球場使用料、弁当代、協力チームへの謝礼など）

3. 筆記テスト問題の例

- 投手がボールを受け取った後マウンドの土の部分離れた場合、打者はバッタースボックスを離れてもよい。（正解：○、規則 5.04b4A）
- 走者一塁、打者は遊撃手へのゴロを打った。遊撃手は二塁へトスしようとしたが止めて一塁に送球し、それが悪送球となってダッグアウトに入った。一塁走者と打者走者には、送球が遊撃手の手を離れたときの占有塁から2個の塁が与えられる。（正解：×、規則 5.06b4G、野球審判員マニュアル第3版 65 ページ(3)）
- インフィールドフライと宣告された飛球を、内野手が故意落球した。インフィールドフライの規則が適用される。（正解：○、規則定義 40 原注）

4. その他

- 1級および2級の認定講習の実施に関する通知などは、BFJからアマチュア野球4団体を通じて各都道府県の審判員組織に伝達されるが、その詳細については BFJ ホームページに掲載するので、都道府県の各団体や受講希望者などは適宜確認すること。

【BFJ ホームページの掲載事項の例】

- ✓ 認定講習の実施に関する通知
- ✓ 1級および2級の筆記テストの合格者（審判員番号のみ）
- ✓ 1級の実技評価の指定日時・会場（審判員番号のみ）
- ✓ 1級の認定講習の合格者（審判員番号のみ）

以上